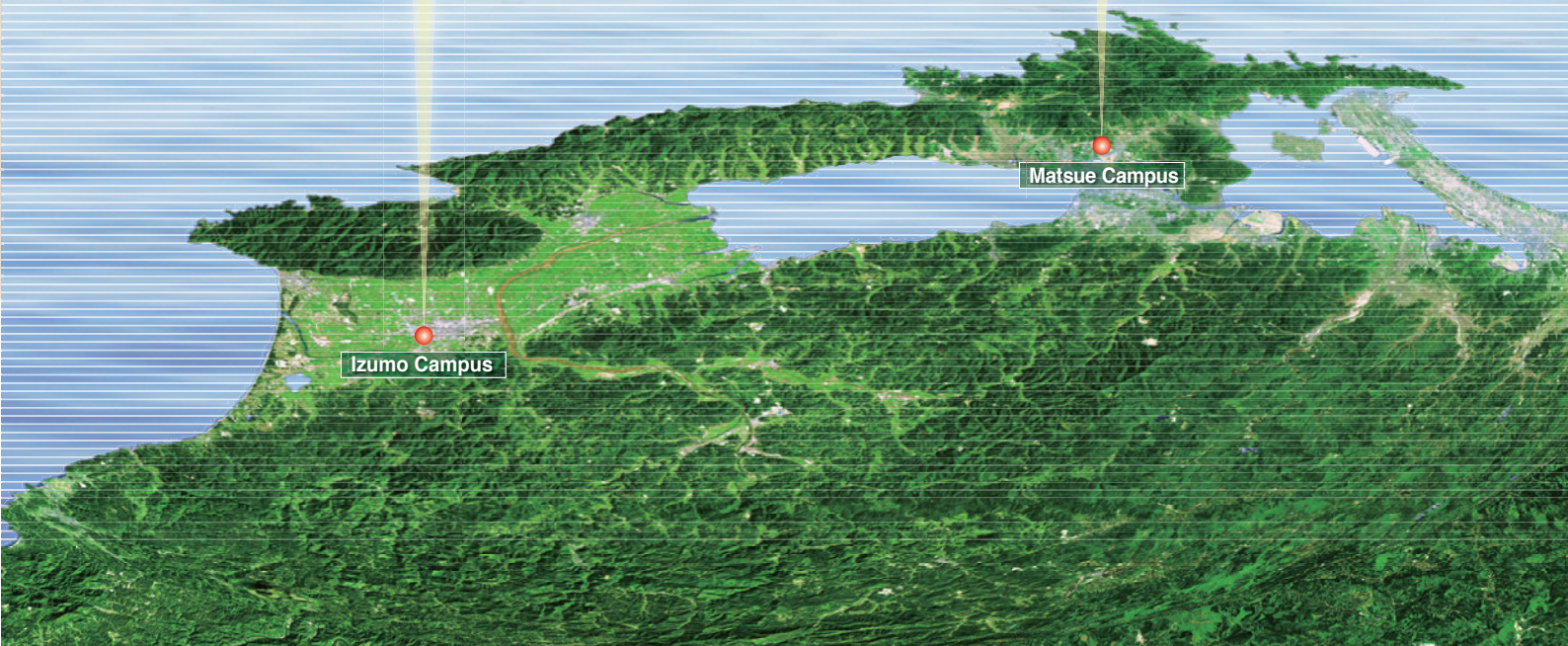


# SUAA

Shimane University Alumni Association

島根大学同窓会連合会 機関誌

March.2015 Vol.9



# 同窓会連合会



昨年10月11日、母校島根大学が国立大学法人となって10周年を迎え、記念式典が松江キャンパスで盛大に挙行されました。そして、小林学長から『地方の総合大学として改革を進めながら、さらに地域に開かれた大学を目指す』との抱負が語られました。

島根大学同窓会連合会も、島根大学が法人化されたのを契機に同窓会活動の更なる発展を図るため、既存の各学部同窓会を連合する新たな組織として発足し、今年の12月で満10年を迎えます。この10年間、同窓会連合会は機関誌(SUAA)の発行や、ホームカミングデーの開催、大学が募集する島根大学支援基金への寄附など、同窓会活動の拡大・強化を図るための諸活動を通じ、同窓会員の皆さまと島根大学を繋ぐ役割を果たして参りました。

島根大学は、厳しい経済社会情勢の中で今後も改革の長い道のりが続くものと考えられますが、同窓会もまた同窓会員相互の親睦のみならず、島根大学や地域の発展、在学生の皆さんの支援などに力が発揮できる組織になるよう求められています。

母校島根大学が『地域に開かれた大学』として、社会における存在価値を高めていくためには、各分野で活躍しておられる同窓会員と双方向からの人的ネットワーク・良好なコミュニケーションを構築し、社会と繋ぐ多くの資産として活用することが重要となります。

同窓生の絆を礎に、今後の同窓会活動へ多くの皆さまの積極的なご参加とご協力をお願いいたします。

島根大学同窓会連合会会長 江口 博晴

## 活動状況

### 第8回ホームカミングデーを開催

松江キャンパスでは、10月12日(日)に第8回ホームカミングデーを開催しました。当日は、約80名の同窓生、一般の方々を迎え、小林祥泰学長、江口博晴同窓会連合会長の挨拶に始まり、学生活動報告会や、平成26年8月末まで作品を募集した「第2回しまだいユーモア連歌大賞」の発表を行いました。

学生活動報告会では、各学部(医学部を除く)の学生から、日頃の教育・研究等の活動を各15分の持ち時間で紹介してもらいました。専門的な研究や地域で活躍する学生の活動報告に、同窓生は熱心に聞き入っていました。報告者及び題目は以下のとおりです。

- ◎法文学部 新藤 正春 氏、清水 雄也 氏  
「ポリレンジャー ～若者の手で政治をよくし隊!～」
- ◎教育学部 佐々木 諒 氏、法本 さやか 氏  
「環境活動を広げるために学生ができること  
～エコタウンまつえ市民記者の活動を通して～」
- ◎総合理工学部 大西 健太 氏  
「光通信の情報量拡大を目指した超広帯域光増幅器装置」
- ◎生物資源科学部 須山 智帆 氏、山岡 董子 氏  
「島大spirits! ～今までの活動と今後の方針について～」



学生活動報告会



しまだいユーモア連歌大賞の発表

昨年度に引き続き行った「第2回しまだいユーモア連歌大賞」発表では、下房桃菴本学名誉教授と小豆澤悦子本学職員が、全国から寄せられた1,790句の中から、学長賞2名と優秀賞20名の発表を行いました。トーク形式による軽快な講評と、レベルの高い作品に、会場からは笑いと感嘆の声が上がっていました。また、当日会場にお越しいただいた入選者に、



小林学長から表笑状(表彰状)と賞品が授与されました。

学長賞の他、各賞については、ホームページをご覧ください。

<http://www.s-renga.shimane-u.ac.jp/>

最後にCOC事業報告として、地域課題学習支援センターの高須佳奈副センター長と中野洋平助教から、平成25年度に採択された「地(知)の拠点整備事業」や、本学の教育・研究・社会貢献それぞれについて地域課題学習支援センターの役割を紹介しました。

出雲キャンパスでは、10月18日(土)に医学部大学祭(くえびこ祭)に併せ、平成26年度医学部ホームカミングデー講演会を開催し、在学生の保護者等を含む約40名の参加がありました。



木谷益田赤十字病院長

大谷医学部長、佐藤利昭医学部同窓会長の挨拶に続き、木谷光博益田赤十字病院長から「地域医療の現状と将来への展望・新病院建築の意味」、泌尿器科学講座の椎名浩昭教授より「島根大学泌尿器科学講座の現状と今後の展望を中心にして」と題してそれぞれ講演があり、参加者は、益田赤十字病院が担う県西部の医療の中心的役割や泌尿器科が行なっているロボット手術の実態などについて、興味深げに聞き入っていました。

その後、弓道部による射の実演やシュールカメラート管弦楽団の演奏会時のDVD放映など嗜好を凝らした部活動の状況報告があり、参加者を楽しませました。

講演会終了後には在学生の保護者を中心に解剖学実習室の見学を行ないました。学生たちの勉強する様子などをより身近に感じることができる良い機会になったと思います。



COC事業報告の様子



椎名教授の講演



弓道部の活動報告

## 島根大パスポート会員制度のご紹介

# 知的好奇心の旺盛なあなたへ

島根大学は新しい学びなおしのスタイルとして、社会人のための市民パスポート会員を募集しています！



平成26年度から「地(知)の大学」として、さらに充実した生涯学習を提供するために「市民パスポート会員制度」を新設しました。

『市民パスポート会員』は、島根大学が実施する一部の講義を無料で受講できる上に、「広報しまだい」や各種情報を受け取ることができ、島根大学のさまざまな活動に参加できます。知的好奇心旺盛なあなたにぜひご加入いただき、生涯現役として「知る」をお楽しみください。

会費は4月1日より翌年3月31日までの年会費として5,000円が必要となりますが、どなたでも入会でき、以下のサービス等をご利用いただけます。

- ①「公開講座」等の情報提供と受講
- ②地域学習支援ITシステムを用いた講義の聴講
- ③「広報しまだい」の送付
- ④附属図書館の利用
- ⑤学生市民交流ハウス(松江キャンパス)の利用
- ⑥大学施設の利用
- ⑦各種催事(国際交流、学生との交流など)への参加

詳細については、本学ホームページまたは以下までお問い合わせください。

島根大学総務部総務課  
(市民パスポート会員担当)

午前8時30分から午後5時00分まで(土日祝を除く)  
〒690-8504 島根県松江市西川津町1060  
TEL:0852-32-6603  
E-mail:webinfo@office.shimane-u.ac.jp

## 平成27年度活動予定

- 第9回ホームカミングデー／平成27年10月11日
- 役員会／平成28年3月
- 機関誌第10号の発行／平成28年3月
- 学部同窓会への支援
- 古代出雲文化フォーラムへの参加協力



同窓会HP <http://www.suaa.shimane-u.ac.jp/>

## 活動状況

台風19号の接近で同時に行われた大学祭が途中から中止になる中で、第8回ホームカミングデー(平成26年10月12日(日)開催)に併せ、法文学部同窓会では、同窓生4名から体験発表、その後、同窓生・現役学生・教員による交流会を実施し、無事、終了しました。夕方からは会場を大学からホテルに移し、意見交換の続きをにぎやかに行いました。

また、同窓生からの投稿、同窓会の活動状況を伝える同窓会年報「淞春」第9号も発刊しました。

### 〈平成26年の主な活動状況〉

- ◇法文学部同窓会役員会  
平成26年4月19日(土) 於:島根大学
- ◇同窓会年報「淞春」第9号発刊  
平成26年8月9日(土)
- ◇広島同窓会「第6回総会・懇親会」  
平成26年8月23日(土)  
於:広島アンデルセン
- ◇第8回島根大学ホームカミングデー・  
法文学部同窓会交流会  
平成26年10月12日(日)  
於:島根大学及びレインボープラザホテル



法文学部同窓会交流会

## 平成27年度活動予定

- 法文学部同窓会役員会  
平成27年4月25日(土) 於:島根大学
- 文理・法文学部関西同窓会(予定)  
平成27年6月13日(土) 於:大阪市内
- 同窓会年報「淞春」年報第10号発刊  
平成27年夏
- 第9回島根大学ホームカミングデー・法文学部  
同窓会交流会  
平成27年10月11日(日)  
於:島根大学他(日程は予定)



同窓会HP  
<http://www.gaku-sei.net/l-douso/>

## 同窓生からの近況報告



### 近況報告

藤原 敬

文理学部法学科第28期(1980年卒)

昭和55年3月、文理学部法学科を卒業しました藤原敬です。行政法学を学びながら当時の流行「金八先生」が頭を離れず、京都府庁に採用されると教育委員会で勤務を続けました。いじめ・不登校・安全保持など、時代を反映する課題に取り組んできました。島根大学教員に縁をいただいて約5年勤め、少しでも恩返しできたかなとの思いです。現在は滋賀県庁の若者支援プロジェクトの事業推進担当として、これまでの35年間の経験を生かして、滋賀県域の若者が元気に就業し、地域に定着するよう、育成・支援に動んでいます。若者はどちらも同じで、迫力のある子は少なくなっているように感じますが、その分、人の心に寄り添えるタイプも増えたのかなと感じています。

(オムロン パーソネル株式会社)



### 島根発グローバルを目指して

鶴島 健治

法文学部法学科第30期(1983年卒)

地元島根の会社に入社しましたが、勤続30数年の約半分を京都や福井の県外で過ごし、昨年の異動で久しぶりに出雲に帰りました。電子部品メーカーに勤務していますが、スマートフォンの拡大や機器の電子化により需要が拡大するとともに海外関連の取引が増加しています。昔からグローバル化とは言われていました。しかしながら、海外と関連するのは一部の人だけでしたが、最近では作業の方方も海外支援で長期出張するのが普通の時代になりました。国内では物理的な距離でハンディのある島根県かもしれませんが、海外への距離感はいコールです。島根発でグローバルに活躍できる人材を育て、地域の活性化に少しでも貢献したいと思っています。

(株式会社出雲村田製作所)

## 活動状況

教育学部同窓会では、同窓会活動を活発にするために「支部の活性化」に重点をおいた活動を進めています。今年度は、役員総会時に支部活性化に関わる情報交換の場を設定し、各支部の活性化の具体策を紹介しました。また、県外支部の新設を目指して、鳥取・山口・広島と協議を重ねています。

### 〈平成26年の主な活動状況〉

#### ◇役員総会

平成26年6月14日(土)  
於：島根大学教育学部多目的ホール  
総会終了後、「教育学部の現状と課題」と題し、小川蔵教育学部長の講演が行われた。

#### ◇同窓会広報紙「Leaf@同窓会」No.6の発行

平成26年9月25日(木)



役員総会

#### ◇第8回ホームカミングデー

平成26年10月12日(日)  
教育学部多目的ホールにて、学部・同窓会共同企画のシンポジウム「地域で活躍する教育学部の卒業生と現役生」が開催された。

#### ◇第3回教育振興奨励賞授与式

平成26年10月30日(木) 於：教育学部長室

#### ◇島根大学法人化10周年記念寄附金贈呈式 (島根大学及び教育学部)

平成26年11月14日(金) 於：学長室  
平成26年11月26日(水) 於：教育学部多目的ホール

#### ◇同窓会誌66号発刊

平成27年1月27日(火)

#### ◇卒業生・3回生講座代表者会

平成27年1月28日(水) 於：多目的研修室(G42)

## 平成27年度活動予定

- 理事会 平成27年5月
- 役員総会 平成27年6月
- 同窓会広報紙「Leaf@同窓会」No.7の発行  
平成27年9月
- 同窓会誌67号発刊 平成28年1月

### 島根大学教育学部同窓会

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 (教育学部機内)  
TEL : 090-3748-3873  
E-mail : e-dousoukai@edu.shimane-u.ac.jp (金角を半角に変えてご使用ください)



同窓会HP

<http://www.suaa2.shimane-u.ac.jp/edu/index.html>

## 同窓生からの近況報告

### 近況報告

田村 幹樹

教育学研究科教科教育専攻(2008年修了)



私は現在、島根県の私立開星中学校・高等学校で勤務をしています。平成26年度で

勤務7年目を迎えました。本校は平成25年度にSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に指定され、現在科学技術系人材育成のための教育課程開発を行っております。SSH指定以前にも、SPPの取り組み等、科学技術系人材育成の取り組みを積極的に行ってきました。また、他教科における取り組みも多様であり、人材育成のために多角的なアプローチを試みています。子供を育てるために何が出来るかを考え、それにすぐにチャレンジできることは、私立学校の強みであると感じています。それと同時に、さまざまなチャレンジの中で自らの成長を強く実感できることも、私が私立学校で勤務をする大きな理由の一つです。教師を目指す皆さんが、教育を生涯追求できる場を求めて挑戦されることを願っています。

(開星中学校・高等学校教諭)



### ひとつずつ

奥 聡美

教育学部初等教育開発専攻(2011年卒)

私は現在、隠岐の島町立都万小学校に勤務しています。地元である隠岐に帰り、教員生活をスタートすることができうれしく思います。新しいことばかりの緊張をほぐしてくれたのは、見慣れた校舎や聞きなれた校歌でした。まだまだ悩むことが多くありますが、先生方からアドバイスや指導をいただき1歩ずつ前に進むことができています。在学中の1000時間体験学修では、子どもたちとかかわる体験が大変充実したものであり、自分の知識を増やす体験を重ねることができました。それらの体験から自分の中の引き出しが増えたと感じ、積み重ねていくことの大切さも学んだように思います。これから子どもたちや先生方から学ぶことを一つ一つ積み上げ成長していきたいです。

(隠岐の島町立都万小学校教諭)

## 活動状況

本同窓会は本部・中四国・東日本・関西・九州の5支部体制を採っており、輪番で支部総会を開催しています。2014年は九州支部（内田一郎支部長（1期））の担当で、7月19日ヒルトン福岡シーホークで行われました。幹事の廣松直幸氏（1期）の計らいで、“絶景の眺望”のオーシャンペンタハウスで開催することが出来ました。2次会は、同ホテルのウインザーコートに場所を移して行われました。参加者は30名と少なめでしたが、夜遅くまで旧交を温めることが出来ました。



九州支部総会懇談会

2014年の医学研究・医学教育奨励賞は以下の2名の方々に決定し、それぞれ20万円の助成を行いました。昨年度の地域医療貢献賞は、該当なしで見送りとなりました。

2025年医学部は、開学50周年を迎えます。50周年記念事業を見据えての意見交換会の場として、ホームカミングデー終了後に、同窓会役員と本学出身教授との懇談会を定期的で開催することになりました。昨年第1回が開催され、50周年記念事業については、同窓会会員に広く案を募ることになりました。

平成26年  
医学研究・医学教育  
奨励賞

- ◎島根大学医学部内科学講座(呼吸器・臨床腫瘍学)助教 津端 由佳里(26期)  
「高齢者肺癌化学療法最適化を指向した多面的事前予測システムの開発」
- ◎島根大学医学部内科学講座(内科学第一)助教 田中 賢一郎(26期)  
「筋組織が骨代謝に及ぼす影響の検討」

## 平成27年度活動予定

- 平成27年10月 ホームカミングデー／大学支部・中四国支部合同総会
- 11月 医学研究・医学教育奨励賞／地域医療貢献賞公募
- 平成28年 3月 同窓会報発行  
年次総会  
医学研究・医学教育奨励賞／地域医療貢献賞授与式



同窓会HP  
<http://www.shimane-u-med-postgraduate.jp/>

## 同窓生からの近況報告



### 近況報告

齊藤 洋司

島根医科大学医学部医学科第2期（1983年卒）

島根医科大学2期生の齊藤です。1983年ですから、卒業してあっという間に30年以上が経ちました。麻醉、集中治療、ペインクリニック、緩和ケアなど広く全身管理領域を担う麻醉科学を教室員と共に支えています。チュートリアル学習から始まり臨床実習、初期研修と活気あふれる若い学生、研修医と一緒に過ごす毎日、本当に自分の年を忘れてしまいそうです。母校に貢献したと唯一胸を張れる臨床講堂の建設（パイ）。その臨床講堂も改修され、IT化した教室に一新されました。それでも私の作った机と椅子は健在で学生達を支えていると思いながら教壇に立っていること、ちょっとした幸せです。これからも、未来を拓く医療人の育成に一層努力し、母校に真の貢献ができるように頑張っていきます。

（島根大学医学部麻醉科学講座 教授）



### 基礎研究に裏打ちされた臨床医学を目指して

瀬戸口 靖弘

島根医科大学医学部医学科第4期（1985年卒）

昭和60年卒業後、自治医科大学病院で内科レジデントとして2年間の研修の後、順天堂大学医学部呼吸器内科学教室へ入局し、米国NIHへの留学を含めほぼ18年間籍を置きました。2008年、都庁のあります西新宿の東京医科大学内科学第一講座教授として就任しました。今年、内科学第一講座が呼吸器内科学と血液内科学に分かれ、呼吸器内科学分野教授となりました。研究テーマは、COPDの末梢気道役割を呼吸生理学的、分子生物学的解析することと、難治性疾患である間質性肺炎の発症の責任遺伝子を同定するためにGWASやエクソーム解析を用いた治療への手がかりを探ることを行っています。医学は、生命科学を基盤に患者治療へ生かせるすばらしい学問であることを念頭に、若手医師の育成と基礎研究に根ざした医療を目指して日夜頑張っております。

（東京医科大学呼吸器内科学分野 教授）

## 活動状況

さくら会は平成27年2月には同窓会設立10周年を迎え、今春13期生が卒業することで会員数が1000名近くとなります。よって今年は10周年の記念祝賀会、名簿の再編集等を企画し、同窓会としての機能を再構築していく予定です。

現在附属病院では、同窓生が看護職員の1割を超え、そのうち3名が副看護師長、1名ががん専門看護師として勤務しており、母校である看護学科においても3名が助教として後輩の教育に携わっております。同窓生が附属病院に増えることで、看護学科との連携がスムーズとなり、看護教育を支援する体制が活気あるものとなってきているように感じます。また、県外においてもがん専門看護師、救急認定看護師等の資格を取得した同窓生は増え続けています。

依然として2015年問題に一足早く突入した島根県では看護の力が今以上に必要となることが予測されます。医療者不足が続いておりますが、まずは看護学科、附属病院における看護職員の不足について協力していきたいと考えております。



### 平成27年度活動予定

- 平成27年5月 島根支部総会  
「島根の看護のこれからについて考える会」
- 平成27年秋頃  
さくら会設立10周年記念式典
- 10周年に向け名簿の改訂
- 同窓生を対象とした看護を語る会(不定期)



同窓会HP

<http://www.shimane-u-med-postgraduate.jp/>

## 同窓生からの近況報告



### 近況報告

佐藤 基

医学部看護学科第6期(2008年卒)

島根県立中央病院の小児科で3年間勤務し、その後、島根大学医学部附属病院の小児科で勤務して4年目になります。小児科では血液疾患や呼吸器疾患、外科疾患など多くの疾患をもつ0歳から15歳までの子どもが対象となります。2014年からは心臓外科手術も始まり、さらに高度な知識と看護を求められるようになりました。仕事や勉強に追われる日々ですが、元気になる帰って行く子ども達の笑顔を見てこの仕事をして良かったと感じています。

2014年からは職場の皆様の協力を得て、働きながら島根大学医学部附属病院の修士課程母子看護学コースで勉強させていただいています。日々進歩する医療・看護を学び、子ども達が少しでも笑顔で過ごせる様に頑張っていきたいと思います。(島根大学医学部附属病院小児センター)



### 近況報告

森脇 典子(旧姓:天早)

医学部看護学科第4期(2006年卒)

卒業後、島根大学医学部附属病院に就職し、病棟勤務を経たあと、現在は同病院の看護教育支援室で副看護師長として働いています。

看護教育支援室は主に院内の看護職員対象の研修の企画・運営を行っています。私は現在新人看護職員の研修の企画・運営を担当しています。新人看護職員の研修は、ほぼ毎月実施されており、そのたびに頑張っている新人看護職員の姿を見て元気をもらっています。看護教育支援室は他の部署のスタッフと関わる機会も多く、その中で島根大学看護学科の卒業生の先輩や同期、後輩と関わることも出来ることも元気に頑張れる源です。

今後も研修を企画しながら、私自身も新しい知識や考え方を吸収し、成長していきたいと思っています。(島根大学医学部附属病院教育支援室)

## 活動状況

10月に開催された島根大学ホームカミングデーでは総合理工学部と総合理工学部同窓会が協力し、講師として宮城氏(リコージャパン(株))、柴田氏((株)大山ハム)、渡辺氏(宇部マテリアルズ(株))をお招きして「OBの見た実社会と就職の講演会」を行いました。また、同月には島根大学総合理工学部東京支部同窓会総会も、来賓として小林学長、服部総合理工学部長及び岡本同窓会長をお迎えし、東京の「島根イン青山」で開催されました。懇親会に先立って、理学部60年卒の(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構の岡本氏から海底鉱物資源を巡る国際競争について講演があり、好評を博しました。今回の総会には他学部の在京同窓会役員などを含め約40名が参加され、会員それぞれの近況を語り合い、親睦を深め楽しいひとときを過ごしました。



東京支部総会

なお、総合理工学部同窓会の現顧問の服部総合理工学部長は、次期島根大学学長候補者になりました。これに伴い、平成27年4月から総合理工学部同窓会の顧問には、新たな島根大学総合理工学部長にご着任予定の廣光一郎先生をお願いいたすことになります。

また、10月には30年以上の長きに渡り島根大学総合理工学部同窓会の理事・幹事・事務局などを歴任された杵村喜則氏(文理9期卒)が逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

### 平成27年度活動予定

- 平成27年5月  
平成27年度卒業生の動向調査完了  
(同窓会名簿の基礎資料)
- 平成27年10月  
総合理工学部同窓会理事会の開催  
総合理工学部同窓会茶話会の開催  
(島根大学ホームカミングデーと同時開催)
- 平成27年12月～28年3月  
総合理工学部入学予定者への同窓会入会案内送付
- 平成28年1月  
平成28年度卒業生の動向調査開始
- 平成28年2月～3月  
総合理工学部同窓会理事会の開催

※島根大学ホームカミングデー(大学祭期間中)に合わせて、同窓生相互の親睦を深めるために総合理工学部同窓会茶話会を開催します。詳細が決まり次第、総合理工学部ホームページに載せますので、是非ご参加下さい。



同窓会HP

<http://www.suaa2.shimane-u.ac.jp/riko/>

## 同窓生からの近況報告



「何もない」は難しい

平井 政継

文理学部地学専攻(1974年卒)

私は今年、2015年1月で66歳になりました。測量調査設計コンサルタント会社で地質関係の調査や工事に携わり、60歳で定年退職し、再雇用で同じ会社に勤務する平凡なサラリーマンをやっております。5人の子供は独立して県外に行き、今は松江に爺婆夫婦で暮らしています。磯釣りを趣味として概ね20年以上になり、磯泊りもします。魚釣りは予測のゲームだと思います。天候や風の予測に始まり、海(海底地形・潮流など)と魚の気持ち(習性・水温など)を予測し、予測が的中した時に大きな釣果が望めます。

「何(何事)もないのが一番」と言いますが「何もない」を実現するには予見する力が重要で、これに準備と努力と知恵が必要と思っています。私も家族も、原発も日本も世界も。(山陰開発コンサルタント株式会社)



改革と淘汰の時代を生き抜くために

成相 裕之

文理学部化学専攻(1976年卒)

私は文理学部化学科を卒業後、神戸大学大学院を経て、教養部化学教室に着任しました。その後、改組を経て、現在、工学研究科応用化学専攻の教員として勤務しています。着任から40年弱、国立大学も法人化され、改革と淘汰の時代に入りました。さらに少子社会の到来もあり、待ちの姿勢から、人材を求めて多様なメニューを用意し、存続を賭けた戦いに突入しています。また、地域住民との共存に根ざした社会の構築に向け、大学の使命を明確にした体制の整備が、生き残り、そして発展に向かうプロセスと思います。広く社会に対し、大学の特色を生かしたメニューの提示こそが発展の生命線と思います。この志を胸に大学人として頑張っていくつもりです。最後に同窓生として貢献できることを願っています。(神戸大学大学院工学研究学科 教授)

## 活動状況

生物資源科学部同窓会では、10月に開催されたホームカミングデーで、生物資源科学部及び研究科と協力して、「社会で活躍する卒業生との就職懇談会」を開催いたしました。関東、近畿、山陰で活躍されている4名の卒業生に現在の仕事、会社説明、就職アドバイス等をしていただきました。また、平成26年10月12日に生物資源科学部同窓会を開催しました。同窓会には日本全国から多くの同窓生が参加され、大学からは小林学長、江口同窓会連合会会長と荒瀬学部長にもご参加いただきました。当日は世代を越えた交流があらわにあらわれ、盛況の内に会は終了いたしました。平成27年2月には生物資源科学部関東同窓会も開催されます。来年度も卒業生と在校生の結び付きを大事にさまざまな活動を企画する予定です。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



生物資源科学部同窓会



就職懇談会

### 平成27年度活動予定

1. 生物資源科学部同窓会役員改選 (4月)
2. ホームカミングデーでの協賛事業の開催  
平成27年10月に開催予定
3. 生物資源科学部同窓会役員会の開催  
6月及び10月に開催予定



同窓会HP  
<http://www.life-suua.shimane-u.ac.jp/>

## 同窓生からの近況報告



### 近況報告

寺井 敏夫

島根農科大学農林経済学科 (1898年卒)

私は本学部の同窓会長を今期で退くことになり、昨年秋の大学法人化10周年記念式典において、学長から感謝状を頂き光栄に思っています。

私は昭和31年卒で、当時は県立で乏しい財政でしたが支えて下さった竹崎学長や県の関係の方に深く感謝しています。竹崎学長は学寮に住まっておられ、背は低いが紳士然としておられた姿は印象に深く残っています。

私は県内に就職し仕事一途でしたが、定年前に懸賞小説に応募し、それが入選してからその道に迷い込み、これまで治水に尽くされた清原太兵衛、大梶七兵衛、戦犯で死刑になった益田市の福原勲、隠岐騒動、浜田城落城、須佐之男などを出版し、目下、松江藩の最後の藩主松平定安、小泉セツなどの同人誌に発表したものを単行本として発刊する作業に追われています。これらはいずれも郷土にかかわる方々です。

私がいた頃の大学は文学的な風土があり、教員の方も俳句の結社を作っておられ、我々も「地軸」という文芸誌を発行していましたが、この仲間は今でも交流を続けています。



### 島根大学に帰還

林 昌平

生物資源科学部生態環境科学科 (2006年卒)

私は2006年に生物資源科学部を卒業後、そのまま修士課程、博士課程へと進み、2011年に鳥取大学連合農学研究科にて博士号を取得しました。島根大学入学から博士号取得まで9年間、松江に住み島根大学で勉強したことになります。博士号取得後は富山県立大学、東京大学で研究員として働き、2013年10月に生物資源科学部の教員に採用していただきました。島根大学に帰ってくることができ、非常に感慨深いものがあります。

現在私は微生物生態学をテーマとして研究しています。具体的には、自然環境中での微生物による農薬の分解や、微生物同士または微生物と植物の相互作用に興味を持っています。それらの研究成果を地域の農業に生かしたいと考えています。(島根大学生物資源科学部農林生産学科 助教)

## 島根大学国立大学法人化10周年記念式典を開催しました

10月11日、松江キャンパスにおいて、島根大学国立大学法人化10周年記念式典を開催しました。本学は今年度、国立大学法人となって10年を迎え、その記念事業の一環として開催したものです。

本学教職員のほか、平素より大学を支えて下さっている同窓会、後援会の方々、企業や自治体の方々、そして地域の皆さまを合わせて約130名お迎えしました。

小林学長と文部科学省高等教育局国立大学法人支援課長である豊岡宏規様の挨拶に続いて、独立行政法人科学技術振興機構社会技術研究センター長の泉紳一郎様より、「地方総合大学のイノベーションへの貢献 — 島根大学への期待 — 」と題してご講演いただきました。

その後、本学で平成26年度より取り組んでいるCOC事業の事業紹介を6つのプロジェクトセンターより行い、本学が地域課題の解決のために取り組んでいる研究や学習の成果を披露しました。

最後には、式典と同時に開催したRubyプログラミングコンテストin島根の最終選考者となった若きプログラマ、そして平素よりボランティア活動や同窓会・後援会活動などを通して、本学に貢献いただいた個人や団体を表彰しました。

多くの方々のご参加とご協力をいただき、式典は大盛況のうちに終了しました。これを機に、本学がより地域に開かれた大学として成長していくことが期待されます。



## 山陰合同銀行と「大学発ベンチャー等支援に関する協力協定書」を締結

12月19日、小林祥泰学長、久保田一朗取締役頭取のほか関係者が出席して、本学と山陰合同銀行との「大学発ベンチャー等支援に関する協力協定書」の締結式を行いました。



今回の協力協定書の締結は、山陰合同銀行による大学発のベンチャービジネスをサポートする『産学連携ファンド「しまね大学発・産学連携ファンド」』の設立によるもので、同ファンドにより本学が保有する特許等の知的財産及び研究成果等の大学シーズを活用した事業化への取組みに対して、資金面、経営面でのサポートを受けることを可能とするものです。

この協力協定書の締結により、本学と山陰合同銀行との協力関係を一層深め、地域での新たな事業の創出、地域経済の発展に寄与できることを期待します。

## 次期学長候補者に服部泰直総合理工学研究科長が決定

小林学長の任期が平成27年3月31日をもって満了することに伴い、12月8日、学長選考会議において次期学長候補者の選考を行い、服部泰直総合理工学研究科長を次期学長候補者として決定しました。任期は平成27年4月1日から平成30年3月31日までの3年間。

服部研究科長は、昭和31年生まれ。平成5年4月島根大学理学部助教授、平成7年6月島根大学理学部教授、平成7年10月島根大学総合理工学部教授、平成23年10月島根大学総合理工学部長、平成24年4月から現職。専門は位相数学。長野県出身。



## 大阪で古代出雲文化フォーラムⅢを開催

本学の幅広い学術研究成果等を発信し、知名度・存在感の向上を図るとともに、島根地域への誘客に繋げるため、平成24年度から「古代出雲文化フォーラム」を東京と広島で開催してきました。今年度は3月8日、大阪において『古代出雲文化フォーラムⅢ～「くにびき神話」と古代出雲・伯耆の成り立ち～』としまして開催します。

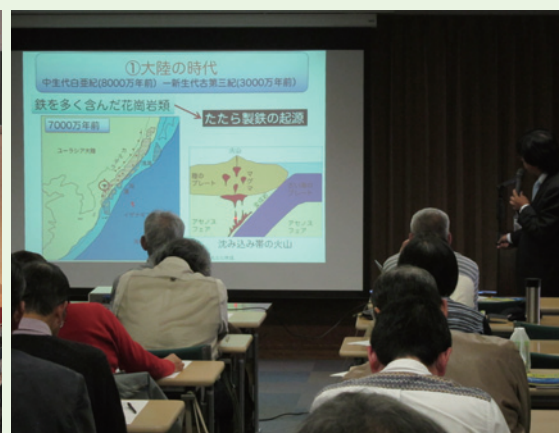
第1部では、シンポジウムとして弥生時代から奈良・平安時代頃にかけての出雲・伯耆地域と他地域との広域交流の様相について、地質学・考古学・文献史学の立場から学際的にアプローチしていきます。

第2部では、出雲大社権宮司の千家和比古氏と小林学長による鼎談を行います。

また、プレフォーラムとして大阪市北区西天満の島根ビルディングにて、島根大学ミュージアム特別講座 in 大阪「古代出雲文化へのいざない」を、10月と12月の2回開催しました。いずれも会場は満員となり、受講者の方々が大変熱心に聴講されていました。



広島でのフォーラムの様子(2014年3月9日)



島根大学ミュージアム特別講座in大阪

## 世を越えて繋がる「島根大学公式Facebook」

島根大学では大学公式Facebookページを開設しています。学長、教職員、学生が島根大学の「今」を伝える情報コンテンツです。

どなたでも投稿可能です。同窓生の皆様もぜひ活用ください。



URL : <http://www.facebook.com/ShimaneUniv>

## LINEの公式アカウントを開設

高校生・受験生・同窓生・地域の方々への情報発信ツールとして島根大学LINE@の公式アカウントを開設しました。

LINEアプリをすでにご利用の方はもちろん、これから利用される方も、ぜひ本学公式アカウント「島根大学LINE (@shimane-univ)」のお友だち登録をぜひ活用ください。



## ご逝去された名誉教授 (平成26年度)

◎島根医科大学医学部  
地土井 襄璽 様  
(平成7年3月31日退職)

◎生物資源科学部  
柴田 均 様  
(平成24年3月31日退職)

◎理学部  
宗像 康雄 様  
(平成2年3月31日退職)

◎総合理工学研究科  
小林 康幸 様  
(平成26年3月31日退職)

## 謹んでご冥福をお祈りいたします。

(本学から報道機関へ公表した方のみ掲載、平成27年1月末現在)



人とともに 地域とともに  
国立大学法人  
**島根大学**



**島根大学同窓会連合会**

〒690-8504 松江市西川津町1060 島根大学総務部総務課 TEL.0852-32-6015  
E-mail:suaa@office.shimane-u.ac.jp